

デジタル計数台はかり
DP-5602C

取扱説明書

大和製衡株式会社

はじめに

この度は、デジタル計数台はかり“DP-5602C”をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、デジタル計数台はかり（以下、本文中では本機とします）をご使用いただくためのガイドブックです。この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解した上で実際にご使用くださいますようお願い致します。

また、取扱説明書の内容がいつでも確認できるよう、大切に保管してください。

本機的设计内容に関する不断の研究改良の結果、この取扱説明書の内容の中に、お買い上げの製品と詳細において異なる場合があります。お買い上げの製品またはこの取扱説明書の内容につきましてご質問がございましたら、ご購入先、弊社支店、もしくは各営業所までお問い合わせください。

目次

	ページ
●安全に正しくお使いいただくために	1～2
●始業時点検のお願い	2
●保管場所について	2
●廃棄について	2
●このような機能があります	3
●ご使用前の準備	4～5
◇壁掛け用金具の取り付け方法	
●キー操作部及び表示部について	6～8
◇キー操作部	
◇表示部	
1. メイン表示：蛍光表示管	
2. サブ表示：フルドットLCD モジュール	
●基本的な使い方	9
1. 電源オンの仕方	
2. 電源オフの仕方	
3. 零点リセットの仕方	
●計数の仕方	10
1. サンプル計量による設定	
2. 単重入力による設定	
●風袋引の仕方	11～12
1. ワンタッチ風袋引	
2. 置数式風袋引	
◇風袋引の取り消し方	
●コード番号入力の仕方	13
●加算の仕方	13～15
1. 手動加算の仕方	
2-1. 自動加算の仕方	
2-2. 手動加算への戻し方	






●減算の仕方	15~16
1. 直前減算の仕方	
2. 計量減算の仕方	
●合計の仕方	16
●上下限判別機能と設定の仕方	17~18
◇上下限判別機能	
◇上下限設定の仕方	
◇上下限設定の取り消し方	
<上下限判別時のLCD表示>	
●品名入力の仕方	19
●登録の仕方	20~22
1. 一括登録の仕方	
2. 単独登録の仕方	
◇一括登録と単独登録の違いについて	
●登録データの呼び出し方	22
●登録データのクリアの仕方	23
●日付・時刻の設定の仕方	23
◇日付の設定	
◇時刻の設定	
●表示輝度及びコントラスト調整の仕方	24
●オプション機能について	24
●ユーザパラメータの設定の仕方	25
●ユーザパラメータ表	26~28
●取引証明以外用	28~30
◇重力加速度補正の仕方	
<使用地域別の重力加速度と設定値>	
◇分銅校正の仕方	
●エラー表示について	31~33
●仕様	34~35
●外観寸法図	36

安全に正しくお使いいただくために





本機を安全にご使用いただくには、正しい操作と定期的な保守が必要です。ご使用前にこの「安全に正しくお使いいただくために」をよくお読みの上、正しくお使いください。

また、本取扱説明書は大切に保管してください。

●表示と意味については次のように定義しています。

	危険	: この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しております。
	警告	: この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり財産の損害を受ける恐れがある内容を示しております。
	注意	: この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品自体に損傷を与える恐れがある内容を示しております。
	禁止	: してはいけないことを表しています。
	強制	: しなければならないことを表しています。

●この製品のご使用前に以下の“危険”、“警告”、“注意”事項をよくお読みいただき、理解し遵守してください。

	危険	
		: 感電事故を避けるために (1) 漏電による重傷事故を避けるために必ずアース線をアースに接続してください。 (2) 電源のコードは、足、運搬車等の車輪で踏まないようにしてください。 (3) 指示部等ネジ止め部は、絶対に外さないでください。 (4) 電源プラグの抜き差しは、プラグの樹脂部を持って確実にこなってください。
		: 爆発、引火事故を避けるために 防爆機能を備えておりません。 可燃性ガス、危険物等の存在する場所での使用は避けてください。
		: 火災、感電事故を避けるために 万一煙が出ている、へんな臭いがする等の異常状態で使用すると、火災、感電の原因となります。 すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。 煙が出なくなるのを確認して購入先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

警告



: 傷害、損害事故を避けるために

- (1) 計量部に被計量物を載せる場合には、荷崩れ、落下がないように載せてください。
- (2) 使用後は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- (3) はかりの隙間、穴等に指を入れないでください。
- (4) 計量部のカバーを外し、内部をいじらないでください。
- (5) はかりの持ち運び、移動の際は計量部を確実に保持して行ってください。
(無理な姿勢や、はかりの指示部または支柱部を持つての持ち運び、移動は絶対にしないでください。)

注意



: 本機を損傷させないために

- (1) 表示部、キー部を爪や先の尖った物で押さないでください。
- (2) 電源電圧、使用環境を遵守してください。
- (3) ひょう量以上の物を載せないでください。
- (4) 載せ台に被計量物の落下等による衝撃を与えないようにしてください。



: はかりの性能を維持させるために

- (1) 振動を発生する器具類の近くに設置しないでください。
- (2) 直射日光の当たる場所や冷暖房機の風が当たる場所には設置しないでください。
- (3) 丈夫な床、台上に設置してください。
- (4) 使用温度範囲(−10~40℃)以外では使用しないでください。
- (5) はかりは水平な状態で使用してください。
(はかりが水平でない時は調節脚で水平を確実に合わせてください。)

始業時点検のお願い

計量法では、適正な計量の実施を求められています。
始業時の点検、質量チェックの実施をお願いします。

保管場所について

- ① 高温／多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって動作しなくなる場合があります。
- ② 本機は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での保管は避けてください。

廃棄について

本機を廃棄する場合は、産業廃棄物(燃えないゴミ)となります。
廃棄方法については、各自自治体で定められている廃棄要領に従って、正しく廃棄してください。

このような機能があります

DP-5602Cは、簡単な操作で効率的な計量及び計数作業が行えます。作業の目的に応じてお役立てください。

標準仕様のみで

機能／目的	方法	備考	ページ
風袋引	① 風袋 キーを使って、ワンタッチで行えます。		11
計量物又は、計量物を入れる容器の質量をゼロにしてから計量したいとき	② 数字 キーと 設定完了 キーを使って設定できます。	予め容器の質量の計量が必要です。	11
	③ 呼出 キーを使って登録している風袋値を設定できます。	予め容器の質量を計量し、登録しておく必要があります。	22
上下限（チェッカ）	① 上限 及び 下限 キーを使って設定できます。		17
定量計量を行いたいとき	② 呼出 キーを使って登録している上限値及び下限値を設定できます。	予め上限値及び下限値を設定し、登録しておく必要があります。	22
加算及び合計	① + キー及び 合計 キーで加算及び合計表示ができます。		13～14, 16
合計回数及び合計個数を知りたいとき	② シフト キー 3 自動 キーを使って自動加算、 合計 キーで合計表示ができます。		
登録 風袋値やコード番号を内部メモリに登録したいとき	呼出 キーを使って、登録できます。		20～21

ご使用前の準備

☆以下の点にご注意いただき正しくお使いください。

はかりは直射日光の当たる場所や、冷暖房機等の風が直接当たる場所には置かないでください。

電源コンセントを確実に接続してください。
使用電源は100V 50 / 60 Hzです。

電源ケーブル (約 4m)
AC100V コンセント

アース線 (約 1m)

安全のため、電源コードに付いているアース線で必ずアースしてください。

表示部

表示部およびキー部を爪、先の尖った物で押さないでください。

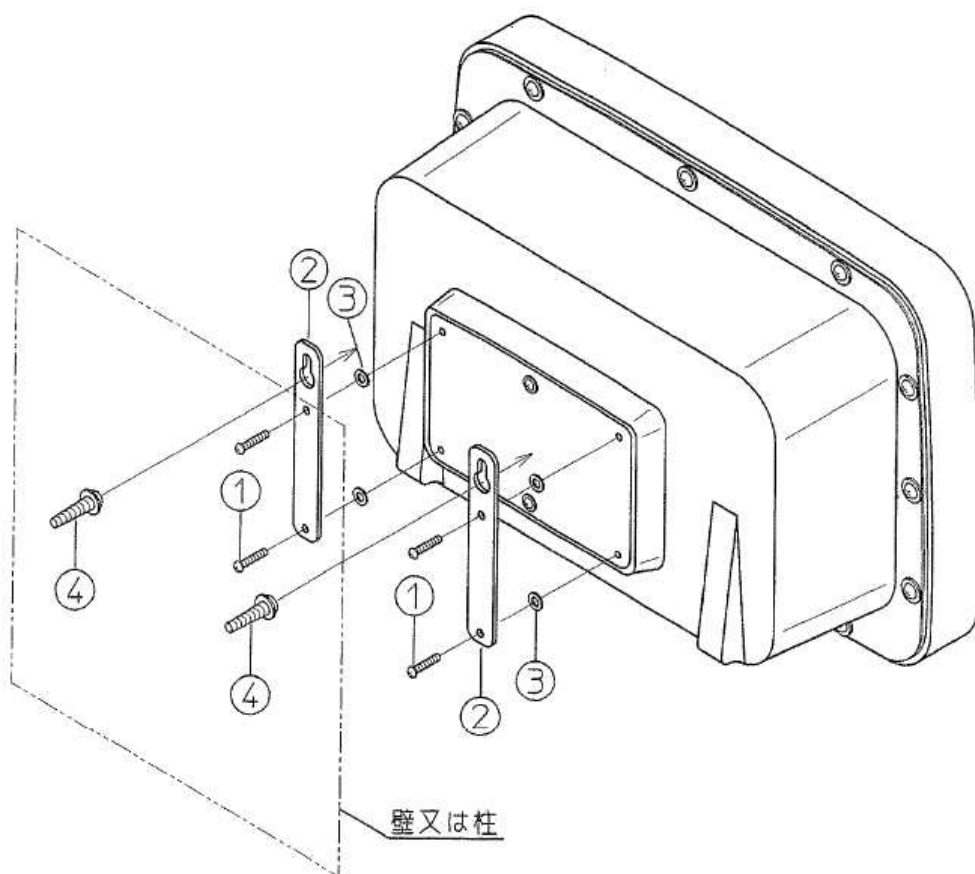
水平器

はかりの水平は確実に合わせてください。
水平器の気泡が赤い中心円の内側になるように、水平調節脚で合わせてください。

水平調節脚

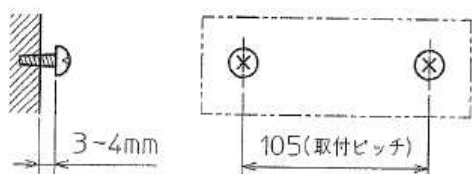
- はかりは丈夫な床の上に置いてください。
- 設置した際にガタツキがあるときは、水平調節脚で調整してください。
- はかりを振動が発生する器具類の近くには置かないでください。
- はかりの使用温度範囲は、 -10°C ～ $+40^{\circ}\text{C}$ の場所です。これ以外の場所では使用しないでください。
- 使用しないとき及び点検時は、電源プラグを抜いてください。
- 初めてご使用になる場合、重力加速度を使用地域にあった値に変更して使用してください。

壁掛けよう金具の取り付け方法



取り付け手順

1. まず初めに、指示計裏側両サイドの①止めねじ〈4本〉を外してください。付属の②壁掛け金具〈2枚〉を①止めねじ〈4本〉にて強く締め付けて取り付けてください。
(③ワッシャ〈4個〉は指示計と②壁掛け金具〈2枚〉の間に必ず入れてください。)
2. ④木ねじ〈2本〉を壁又は柱に下図の様に取り付けてください。

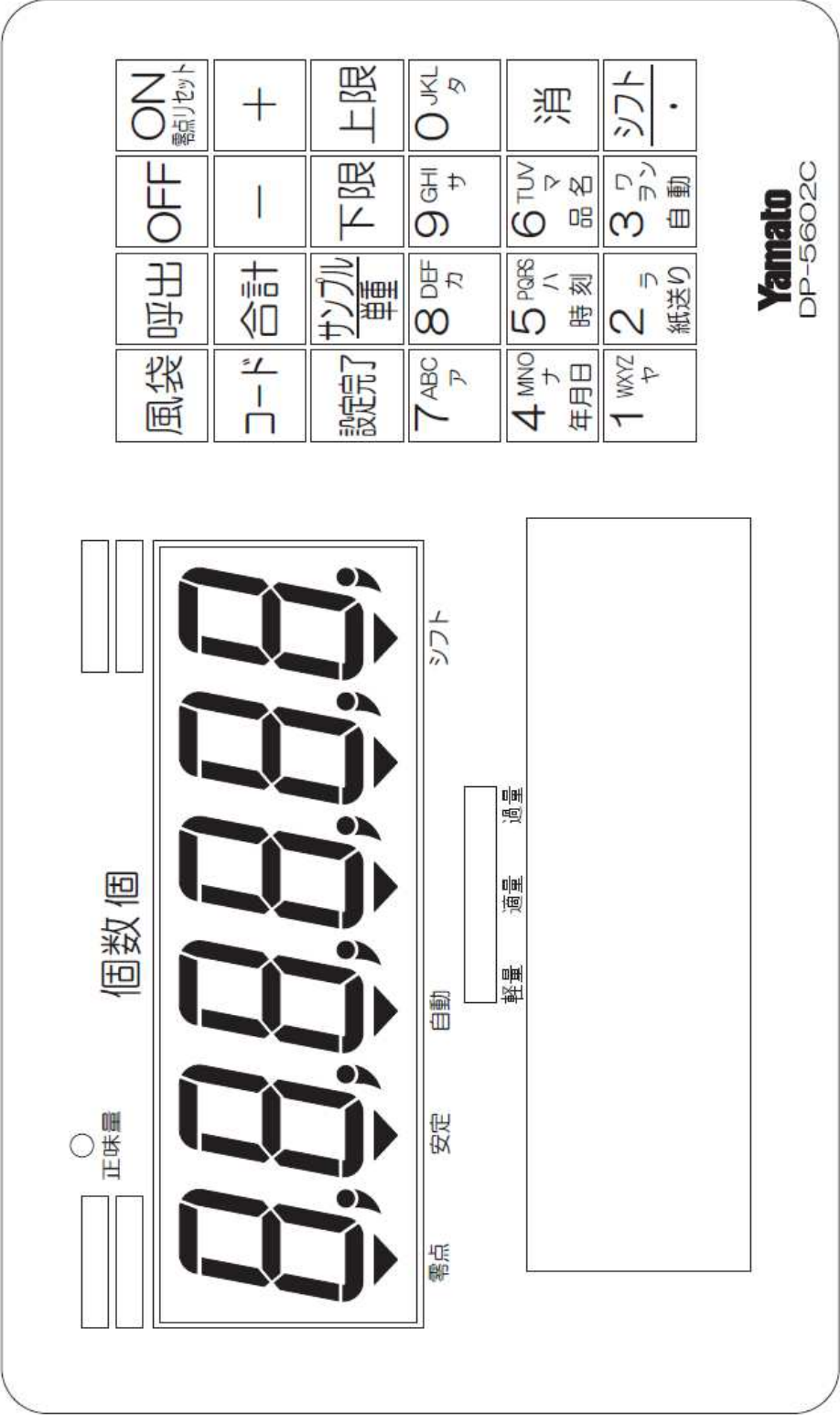


3. 上記1.でセットされた②壁掛け金具〈2枚〉の上部穴に、上記2.でセットされた④木ねじ〈2本〉に引っかけてください。これでセット完了です。

〈注意〉

①止めねじ〈4本〉を一定の締め付けトルクで締め付けておきますので、防水・防塵性能 (IP66) 基準及び洗浄が容易に行え衛生的 (HACCP対応) には万全ですが、指示計壁掛けタイプの場合、一端①止めねじを外して②壁掛け金具を取り付けますので①止めねじの締め付け力が弱い時、また②壁掛け金具が外部に取り付けとなり〈IP66〉〈HACCP対応〉については保証しかねますので御了解願います。

キー操作部及び表示部について



Yamato
DP-5602C

キー操作部

風袋	呼出	OFF	ON 電源リセット
コード	合計	—	+
設定完了	サンプル 単重	下限	上限
7 ABC ア	8 DEF カ	9 GHI サ	0 JKL タ
4 MNO ナ	5 PQRS ハ	6 TUV マ	消
1 WXYZ ヤ	2 ラ 紙送り	3 ワ 自動	シフト .

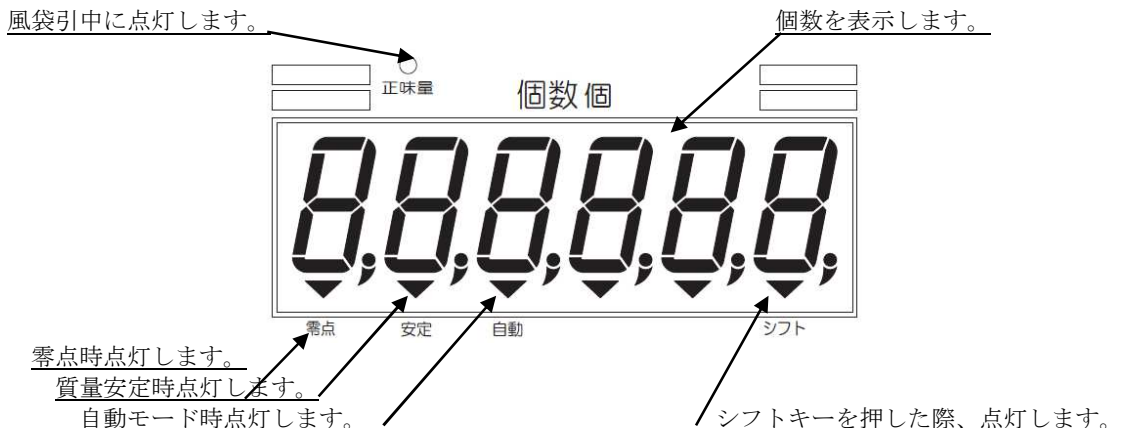
ON/零点リセット:

電源が入っていない時、電源をオンします。電源が入っている時は、零点をリセットします。

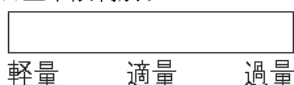
- OFF** : 電源をオフします。
- 呼出** : 登録データの呼び出しや、登録をします。
- 風袋** : ワンタッチ風袋引をします。
- +** : 手動加算します。
- : 加算した直後のデータを取り消します。
- 合計** : 加算した合計質量と合計回数を表示する際、使用します。
- コード** : コード番号を入力する表示へ切り替えます。
- 上限** : 上限値を入力する表示へ切り替えます。
- 下限** : 下限値を入力する表示へ切り替えます。
- サンプル/単重** : 個数を入力する表示へ切り替えます。
- 設定完了** : 入力した設定値を確定します。
- 数字** : 数字を入力します。
- 消** : 入力中の設定値をキャンセルします。(0にする。)
- シフト/.** : このキーを押した後、拡張キー ([2]~[6]) が有効になります。
また、単重入力時、小数点を入力します。
- 紙送り** : プリンタ接続時、紙送りします。
- 自動** : 自動加算機能の切り替えをします。
- 年月日** : 年月日を入力する表示へ切り替えます。
- 時刻** : 時刻を入力する表示へ切り替えます。
- 品名** : 品名を入力する表示へ切り替えます。

表示部

1. メイン表示：蛍光表示管



☆上下限判別ランプ



上下限設定時、①軽量であれば、赤色ランプ点灯
 ②適量であれば、青色ランプ点灯
 ③過量であれば、黄色ランプ点灯

2. サブ表示：フルドットLCDモジュール

サブ表示では、最大8項目を表示することが可能です。

上限値、下限値、etc... 設定値の入力はサブ表示で行います。(ユーザパラメータ設定(25ページ)は除く)

正味量	-10.0kg	単重	0.500kg
風袋量	10.0kg	総量	0.0kg
コード	123456	下限値	20.0kg
日付	12/01/05	時刻	08:40:02

表示例

表示できる項目と位置について

表示画面は、図1のように8区画に分かれています。

上から1、2段目①～④については、出荷時に設定し、変更することはできません。

残り3、4段目の⑤～⑧については、お客様が設定したい項目を割り付けることができます。

設定方法は、25ページ「ユーザパラメータの設定のしかた」を参照し、パラメータ番号070～073を変更してください。

①	②
③	④
⑤	⑥
⑦	⑧

図1 表示画面割付図

①：正味量、②：単重、③：風袋量、④：総量

⑤⑥：上限値、下限値、コード番号、品名※1、年月日、時刻、合計回数、合計(合計回数と合計個数※1)

⑦⑧：正味量、コード番号、品名※1、年月日、時刻、合計回数、合計(合計回数と合計個数※1)、

※1：品名、合計は2区画使用しますので、⑤か⑦に設定してください。

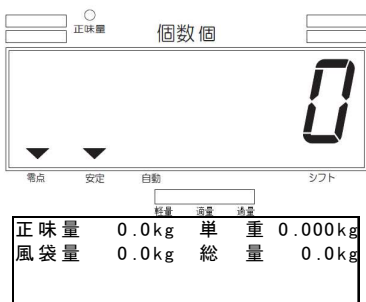
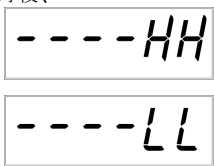
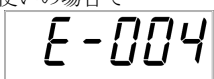
設定すると、⑥、⑧に割り付けた項目は表示されません。

また、⑥か⑧に設定した場合は、品名、合計は表示されません。

基本的な使い方

(ひょう量 300kg/目量 0.1kg の場合)

1. 電源オンの仕方

操作手順	表示内容	備考
<p>① 【表示オン】</p> <p>ON 零点リセットキーを押してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>はかりが安定して いないときは、 安定するまで 全点灯表示を続けます。</p> </div>	<p>全ての表示が点灯し、“0”表示となり、点灯時零点サイン・安定サインが点灯します。</p> 	<p>全灯後、</p>  <p>の表示が出た場合は、31 ページ をご覧ください。</p> <p>オプションプリンタ JPS-508 を接続してお使いの場合で</p>  <p>の表示が出たとき、一度オフ、オンの操作をしてください。再度、同じ表示が出る場合、販売店へご相談ください。</p>

2. 電源オフの仕方

<p>① 【表示オフ】</p> <p>OFF キーを押してください。</p>		<p>本機は表示オフしても、待機電力を消費しています。長期間ご使用にならない場合、電源プラグをコンセントより抜いてください。</p>
---	--	--

3. 零点リセットの仕方

操作手順	表示内容	備考
<p>① はかりの載台に何も載っていない状態で“0.0kg”以外を表示している場合、ON 零点リセットキーを押してください。</p> <p>※零点をリセットし、“0.0kg”と表示します。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>正味量 0.1kg 単重 0.000kg 風袋量 0.0kg 総量 0.1kg</p> </div> <p style="text-align: center;">零点リセット前</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>正味量 0.0kg 単重 0.000kg 風袋量 0.0kg 総量 0.0kg</p> </div> <p style="text-align: center;">零点リセット後</p>	<p>零点リセットが有効な範囲はひょう量の±1.9%以内です。</p>

計数の仕方

(ひょう量 300kg/目量 0.1kg の場合)

1. サンプル計量による設定

《例》 サンプル 50 個の質量が 5.0kg の場合

	操作手順	表示内容	備考
①	サンプル/単重 キーを押してください。		
②	はかりの載台に 50 個のサンプルを載せてください。		正味量、総量が“5.0kg”と表示されます。
③	5 0 の順に、入力してください。		
④	設定完了 キーを押してください。 単重 0.100kg が設定され、計数計量が開始されます。		サブ表示は、通常表示に戻ります。

2. 1 個あたりの質量が分かっている場合の設定 (単重入力による設定)

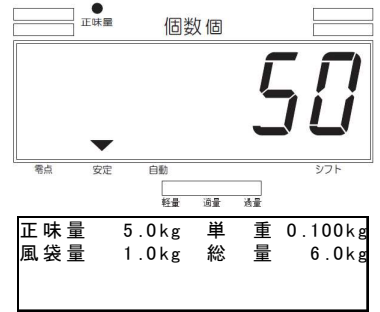
《例》 単重 0.56kg を設定する場合

	操作手順	表示内容	備考
①	サンプル/単重 キーを押してください。		サンプル計量の設定へ。
②	再度、 サンプル/単重 キーを押してください。		単重入力の設定へ。 再度、 サンプル/単重 キーを押すと、サンプル計量設定へ戻ります。
③	0 シフト 5 6 キーの順に、入力してください。		シフト キー：小数点入力 最大 5 桁の入力が可能。
④	設定完了 キーを押してください。		単重が小さすぎる場合(=目量の 1/100 より小さい)、“E-001”が表示され、単重が設定されません。 また、目量の 1/100 以下の単重入力は、切り捨てられます。

風袋引の仕方

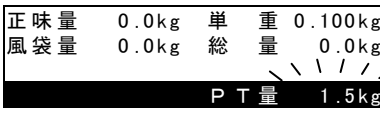
(ひょう量 300kg/目量 0.1kg の場合)

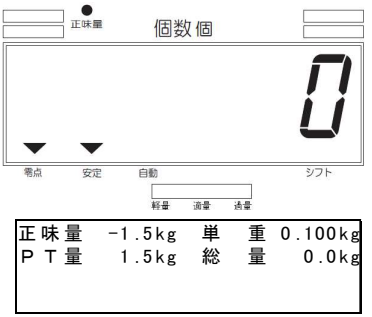
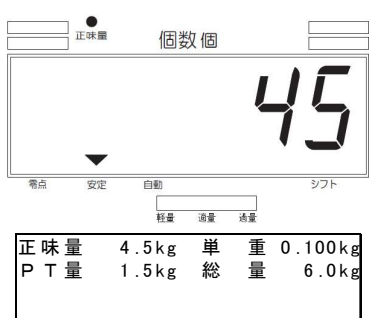
1. ワンタッチ風袋引・・・風袋キーのみで行う、簡単な風袋引きのしかたです。

操作手順	表示内容	備考
<p>①</p> <p>はかりの載台に容器を載せてください。</p> <p>例は容器の質量が 1.0kg、単重が 0.100kg の場合を示しています。</p>	 <p>正味量 1.0kg 単重 0.100kg 風袋量 0.0kg 総量 1.0kg</p>	<p>メイン表示に個数が表示されます。</p>
<p>②</p> <p>表示値が安定しているとき風袋キーを押してください。</p>	 <p>正味量 0.0kg 単重 0.100kg 風袋量 1.0kg 総量 1.0kg</p>	<p>メイン表示の個数が"0"になり、正味量ランプが点灯します。 サブ表示では正味量が"0.0kg"、風袋量が"1.0kg"を表示します。</p>
<p>③</p> <p>【計数開始】</p> <p>はかりの載台に計量物を載せてください。</p> <p>例は計量物の質量が 5.0kg の場合を示しています。</p>	 <p>正味量 5.0kg 単重 0.100kg 風袋量 1.0kg 総量 6.0kg</p>	<p>メイン表示に個数が表示され、サブ表示に計量物の正味量が表示されます。</p>

2. 置数式風袋引 (風袋量が予めわかっている場合)・・・数字キーと設定完了キーで行います。

《例》 風袋値を 1.5kg に設定する場合

操作手順	表示内容	備考
<p>①</p> <p>【風袋値入力】</p> <p>1 5 の順に入力してください。</p>	 <p>正味量 0.0kg 単重 0.100kg 風袋量 0.0kg 総量 0.0kg PT量 1.5kg</p>	<p>設定値の入力は、サブ表示で行います。 設定値点滅。</p>

	操作手順	表示内容	備考
②	<p>設定完了キーを押してください。</p>	 <p>The display shows '0.00' in the main area and '0.100kg' and '0.0kg' in the sub-area. The 'Net Weight' lamp is lit.</p>	<p>メイン表示は、正味量ランプが点灯します。サブ表示は、風袋量がPT量に切り替わり、標準画面に戻ります。</p>
③	<p>【計数開始】 はかりの載台に計量物を載せてください。 例は計量物(風袋込み)の質量が6.0kgの場合を示しています。</p>	 <p>The display shows '45.00' in the main area and '0.100kg' and '6.0kg' in the sub-area. The 'Net Weight' lamp is lit.</p>	<p>メイン表示に個数が表示され、サブ表示に計量物の正味量が表示されます。</p>

風袋引の取り消し方

	操作手順	表示内容	備考
①	<p>容器をはかりの載台から取り除いてください。 例はワンタッチ風袋引きを行った場合を示しています。</p>	 <p>The display shows '-1.00' in the main area and '0.100kg' and '0.0kg' in the sub-area. The 'Net Weight' lamp is lit.</p>	<p>正味量がマイナスで表示されます。</p>
②	<p>風袋キーを押してください。</p>	 <p>The display shows '0.00' in the main area and '0.100kg' and '0.0kg' in the sub-area. The 'Net Weight' lamp is off.</p>	<p>メイン表示の正味量ランプが消灯し、サブ表示の正味量・風袋量が"0.0kg"と表示されます。</p>

コード番号入力の方法

《例》コード番号"123456"を入力する場合

	操作手順	表示内容	備考
①	<p>コードキーを押してください。</p> <p>(設定中の表示は点滅)</p>		<p>設定値の入力は、サブ表示で行います。</p> <p>設定値点滅。</p>
②	<p>【コード番号入力】</p> <p>1 2 3 4 5 6</p> <p>の順に入力してください。</p>		<p>最大6桁まで入力できます。</p> <p>入力を間違った場合は、消キーを押してから、再度番号を入力してください。</p>
③	<p>設定完了キーを押してください。</p>		<p>通常表示へ戻ります。</p> <p>(パラメタ番号 072=4 に設定した場合を示しています。)</p>

加算の方法

毎回の計数値をはかり内部メモリに加算し、合計回数や合計個数を確認したい時に使用してください。

1. 手動加算の方法

プリンタ等を接続された時は、専用取扱説明書をご覧ください。


	操作手順	表示内容	備考
①	<p>はかりの載台に計量物を載せてください。</p> <p>例は単重が 0.100kg、計量物の質量が 5.0kg の場合を示しています。</p>		<p>計量物の個数を表示します。</p>
②	<p>【加算】</p> <p>安定サインの点灯を確認後、+キーを押してください。</p> <p>※加算を取り消したい場合は、-キーを押して、減算処理を行ってください。</p> <p>(詳細は、15 ページ参照)</p>	<p>パラメタ番号035が0に設定されていれば、表示はそのまま、SENDを表示しません。</p>	<p>加算後、合計値が内部メモリ記憶容量を超えた場合は、エラー表示となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合計回数オーバー ・合計個数オーバー

	操作手順	表示内容	備考
③	計量物をはかりの載台から取り除いてください。		“0”表示に戻ります。
④	<ul style="list-style-type: none"> ・以上で1回の加算操作は終了です。 ・以後①～③の操作を繰り返す事により計数値が次々と内部メモリに加算されます。 		

2-1. 自動加算の仕方

	操作手順	表示内容	備考
①	<p>シフトキーを押した後、</p> <p>3 自動キーを押してください。</p>		シフトサインが点灯した後、自動サインが点灯します。
②	<p>【加算】</p> <p>はかりの載台に計量物を載せてください。 表示が安定すると自動的に加算されブザーがピッと鳴ります。</p> <p>※加算を取り消したい場合は、 —キーを押して、減算処理を行ってください。 (詳細は、15 ページ参照)</p>	<p></p> <p>パラメータ番号035が0に設定されていれば、表示はそのまま、SENDを表示しません。</p> <p></p>	<p>加算後、合計値が内部メモリ記憶容量を超えた場合は、エラー表示となります。</p> <p>・合計回数オーバー</p> <p></p> <p>・合計質量オーバー</p> <p></p>
③	計量物をはかりの載台から取り除いてください。		“0”表示に戻ります。
④	<ul style="list-style-type: none"> ・以上で1回の自動加算操作は終了です。 ・以後②、③の操作を繰り返す事により計数値が次々と内部メモリに加算されます。 自動加算のタイミングはパラメータ番号069により決定できます。 ※パラメータの変更に関しては、25 ページの「ユーザパラメータの設定の仕方」を参照してください。 		

2-2. 手動加算への戻し方

	操作手順	表示内容	備考
①	シフトキーを押した後、 3 自動キーを押してください。		シフトサインが点灯した後、自動サインが消灯します。

減算の仕方

はかり内部メモリに加算したデータを減算したい時に使用してください。

減算の仕方は2種類有り、パラメータ番号 086 の設定により選択することができます。

工場出荷時の設定値は"0"です。


設定値	名称	機能説明	備考
0	直前減算	直前の加算データを減算します。	1回の減算に限る。
1	計量減算	載台に載っている個数を減算します。	複数回の減算が可能。




※パラメータの変更に関しては、25 ページの「ユーザパラメータの設定の仕方」を参照してください。

1. 直前減算の仕方

	操作手順	表示内容	備考
①	加算した後、 - キーを押してください。	 パラメータ番号 035 が 0 に設定されていれば、表示はそのまま、SEND を表示しません。 	表示されている個数に関係なく、直前の加算データを減算します。

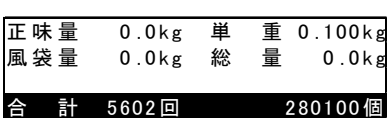
2. 計量減算の仕方

	操作手順	表示内容	備考
①	加算した後、はかりの載台に減算したい計量物を載せてください。		計量物の個数を表示します。

	操作手順	表示内容	備考
②	<input type="button" value="−"/> キーを押してください。	 <p>パラメータ番号035が0に設定されていれば、表示はそのままで、SENDを表示しません。</p> 	
③	計量物をはかりの載台から取り除いてください。		“0”表示に戻ります。
④	<p>以上で1回の減算操作が終了です。</p> <p>②、③の操作を繰り返す事により内部メモリのデータを続けて減算することも可能です。ただし、合計回数が0である、又は合計個数がマイナスになる場合は減算できません。</p>		

合計の仕方

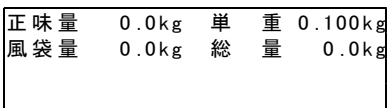
加算された計量結果（合計回数、合計個数）が確認できます。

	操作手順	表示内容	備考
①	<input type="button" value="合計"/> キーを押してください。 合計回数の最大は4桁、 合計個数の最大は8桁です。		合計値は、サブ表示に表示されます。

加算を続行する場合

加算を打ち切り、合計値をクリアする場合

- 合計値のメモリを取り消す場合は、合計個数又は合計回数表示中に キーを押してください。
- 合計個数、合計回数の全てがクリアされ、次の作業より加算は1回目から始まります。

②	<input type="button" value="合計"/> キーを押してください。		通常表示へ戻ります。
③	加算操作を引き続き行ってください。		

上下限判別機能と設定の仕方


上下限判別機能

計量する際、目標とする個数に対し、多い分を上限值、少ない分を下限值として適量範囲を設けて定量作業を行う場合に使用します。



上下限設定の仕方

〈例〉下限値 100 個、上限値 105 個を設定する場合

操作手順	表示内容	備考																
① [下限]キーを押してください。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>正味量</td><td>0.0kg</td><td>単重</td><td>0.100kg</td> </tr> <tr> <td>風袋量</td><td>0.0kg</td><td>総量</td><td>0.0kg</td> </tr> <tr> <td>下限値</td><td>0個</td><td>上限値</td><td>0個</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td>下限値</td><td>0個</td> </tr> </table>	正味量	0.0kg	単重	0.100kg	風袋量	0.0kg	総量	0.0kg	下限値	0個	上限値	0個			下限値	0個	設定値点滅。 (パラメータ番号 070=10、071=11 に設定した場合は示しています。)
正味量	0.0kg	単重	0.100kg															
風袋量	0.0kg	総量	0.0kg															
下限値	0個	上限値	0個															
		下限値	0個															
② 【下限値入力】 [1][0][0]の順に、 入力してください。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>正味量</td><td>0.0kg</td><td>単重</td><td>0.100kg</td> </tr> <tr> <td>風袋量</td><td>0.0kg</td><td>総量</td><td>0.0kg</td> </tr> <tr> <td>下限値</td><td>0個</td><td>上限値</td><td>0個</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td>下限値</td><td>100個</td> </tr> </table>	正味量	0.0kg	単重	0.100kg	風袋量	0.0kg	総量	0.0kg	下限値	0個	上限値	0個			下限値	100個	設定値点滅。
正味量	0.0kg	単重	0.100kg															
風袋量	0.0kg	総量	0.0kg															
下限値	0個	上限値	0個															
		下限値	100個															
③ [設定完了]キーを押してください。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>正味量</td><td>0.0kg</td><td>単重</td><td>0.100kg</td> </tr> <tr> <td>風袋量</td><td>0.0kg</td><td>総量</td><td>0.0kg</td> </tr> <tr> <td>下限値</td><td>100個</td><td>上限値</td><td>0個</td> </tr> </table>	正味量	0.0kg	単重	0.100kg	風袋量	0.0kg	総量	0.0kg	下限値	100個	上限値	0個					
正味量	0.0kg	単重	0.100kg															
風袋量	0.0kg	総量	0.0kg															
下限値	100個	上限値	0個															
④ [上限]キーを押してください。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>正味量</td><td>0.0kg</td><td>単重</td><td>0.100kg</td> </tr> <tr> <td>風袋量</td><td>0.0kg</td><td>総量</td><td>0.0kg</td> </tr> <tr> <td>下限値</td><td>100個</td><td>上限値</td><td>0個</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td>上限値</td><td>0個</td> </tr> </table>	正味量	0.0kg	単重	0.100kg	風袋量	0.0kg	総量	0.0kg	下限値	100個	上限値	0個			上限値	0個	設定値点滅。
正味量	0.0kg	単重	0.100kg															
風袋量	0.0kg	総量	0.0kg															
下限値	100個	上限値	0個															
		上限値	0個															
⑤ 【上限値入力】 [1][0][5]の順に、 入力してください。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>正味量</td><td>0.0kg</td><td>単重</td><td>0.100kg</td> </tr> <tr> <td>風袋量</td><td>0.0kg</td><td>総量</td><td>0.0kg</td> </tr> <tr> <td>下限値</td><td>100個</td><td>上限値</td><td>0個</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td>上限値</td><td>105個</td> </tr> </table>	正味量	0.0kg	単重	0.100kg	風袋量	0.0kg	総量	0.0kg	下限値	100個	上限値	0個			上限値	105個	設定値点滅。
正味量	0.0kg	単重	0.100kg															
風袋量	0.0kg	総量	0.0kg															
下限値	100個	上限値	0個															
		上限値	105個															
⑥ [設定完了]キーを押してください。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>正味量</td><td>0.0kg</td><td>単重</td><td>0.100kg</td> </tr> <tr> <td>風袋量</td><td>0.0kg</td><td>総量</td><td>0.0kg</td> </tr> <tr> <td>下限値</td><td>100個</td><td>上限値</td><td>105個</td> </tr> </table>	正味量	0.0kg	単重	0.100kg	風袋量	0.0kg	総量	0.0kg	下限値	100個	上限値	105個					
正味量	0.0kg	単重	0.100kg															
風袋量	0.0kg	総量	0.0kg															
下限値	100個	上限値	105個															
⑦ 【計量開始】 計量物をはかりの載台に載せてください。 計量と同時に、上下限判別を行います。	 <p>The LCD display shows '101' in large digits. Above it, '個数個' (Number of pieces) is displayed. Below the display are buttons for '電源' (Power), '安定' (Stable), '自動' (Auto), and 'シフト' (Shift). At the bottom, there are buttons for 'OK', '<', '>', and '<<'/'>>'. Below the OK button, it says '目標まであと - 1 個' (1 piece remaining to reach target).</p>	<p>判別結果により</p> <ul style="list-style-type: none"> •LED ランプが点灯します。 軽量時：赤色 適量時：青色 過量時：黄色 •LCD の表示内容が変化します。詳細は、次ページの〈上下限判別時のLCD表示〉を参照してください。 																

品名入力の仕方

《例》 品名“グレープフルーツ”を入力する場合

	操作手順	表示内容	備考
①	シフトキーを押した後、 6品名キーを押してください。		品名の入力は、サブ表示で行います。 設定桁点減。
②	【入力文字切替】 風袋キーを2回押してください。		風袋キー：入力文字切替 数字モード(123) ↓ 英字モード(ABC) ↓ カナモード(アイ) の順で切り替わる。 ()内は左端の表示を示す。
③	【文字入力】 表1を参考に文字入力を行ってください。 例えば、“グ”の場合は、 “ク”…8キーを3回 “ゝ(濁点)”…コードキーを1回 となります。		
④	設定完了キーを押してください。		通常表示へ戻ります。 (パラメータ番号 072=5 に設定した場合は示しています。)

表1 キーの文字割り当て一覧表

キー	数字モード	英字モード	カナモード
風袋	英字モードへ	カナモードへ	数字モードへ
0	0	J K L j k l 0	タチツテトツ
1	1	W X Y Z w x y z 1	ヤユヨ ユュヨ
2	2		ラリルレロ
3	3		ワヲンー
4	4	M N O m n o 4	ナニヌネノ
5	5	P Q R S p q r s 5	ハヒフヘホ
6	6	T U V t u v 6	マミムメモ
7	7	A B C a b c 7	アイウエオ アイウエオ
8	8	D E F d e f 8	カキクケコ
9	9	G H I g h i 9	サシスセソ
コード	, . - (ス°-ス)	, . - (ス°-ス)	° ° ° ° - (ス°-ス)

登録の仕方

DP-5602C は、風袋値、コード番号、上限値、下限値、単重値、品名を呼出番号毎に単独又は一括にて記憶することができます。

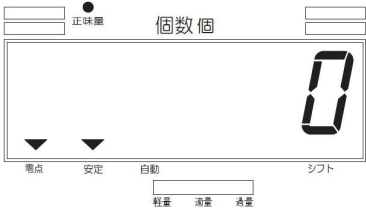
呼出番号は1～100番まであり、100種類分の記憶が可能です。

このデータは内部メモリに記憶していますので、はかりの電源を切っても消えることはありません。

日常頻繁に使用するデータを登録しておくことで、作業前の設定が簡単になり、作業効率が一段と向上します。

1. 一括登録の仕方・・・一括して設定データを登録する方法です。

〈例〉 単重値 0.100kg、風袋値 1.5kg、コード番号 123456、下限値 100 個、上限値 105 個を呼出番号 70 に登録する場合

	操作手順	表示内容	備考																																
①	<p>予め全てのデータを設定しておいてください。</p> <p>設定していない項目は登録されません。</p>	 <table border="1" data-bbox="552 739 916 836"> <tr> <td>正味量</td> <td>-1.5kg</td> <td>単重</td> <td>0.100kg</td> </tr> <tr> <td>風袋量</td> <td>1.5kg</td> <td>総量</td> <td>0.0kg</td> </tr> <tr> <td>下限値</td> <td>100個</td> <td>上限値</td> <td>105個</td> </tr> <tr> <td>コード</td> <td colspan="3">123456</td> </tr> </table>	正味量	-1.5kg	単重	0.100kg	風袋量	1.5kg	総量	0.0kg	下限値	100個	上限値	105個	コード	123456			<p>データ設定後、はかりの載台上に計量物が載っている場合は、下ろしてください。</p> <p>(パラメータ番号 070=10、071=11、072=4 に設定した場合は示しています。)</p>																
正味量	-1.5kg	単重	0.100kg																																
風袋量	1.5kg	総量	0.0kg																																
下限値	100個	上限値	105個																																
コード	123456																																		
②	<p>呼出キーを押し続けます。</p> <p>(設定中の表示は点滅)</p>	<table border="1" data-bbox="541 875 930 971"> <tr> <td>正味量</td> <td>0.0kg</td> <td>単重</td> <td>0.100kg</td> </tr> <tr> <td>風袋量</td> <td>0.0kg</td> <td>総量</td> <td>0.0kg</td> </tr> <tr> <td>下限値</td> <td>100個</td> <td>上限値</td> <td>105個</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>呼出</td> <td>000</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <table border="1" data-bbox="541 1064 930 1161"> <tr> <td>正味量</td> <td>-1.5kg</td> <td>単重</td> <td>0.100kg</td> </tr> <tr> <td>風袋量</td> <td>1.5kg</td> <td>総量</td> <td>0.0kg</td> </tr> <tr> <td>下限値</td> <td>100個</td> <td>上限値</td> <td>105個</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>登録</td> <td>000</td> </tr> </table>	正味量	0.0kg	単重	0.100kg	風袋量	0.0kg	総量	0.0kg	下限値	100個	上限値	105個			呼出	000	正味量	-1.5kg	単重	0.100kg	風袋量	1.5kg	総量	0.0kg	下限値	100個	上限値	105個			登録	000	<p>零点のとき（計量部に何も載っていないとき）のみキーが有効です。</p>
正味量	0.0kg	単重	0.100kg																																
風袋量	0.0kg	総量	0.0kg																																
下限値	100個	上限値	105個																																
		呼出	000																																
正味量	-1.5kg	単重	0.100kg																																
風袋量	1.5kg	総量	0.0kg																																
下限値	100個	上限値	105個																																
		登録	000																																
③	<p>合計キーを押します。</p>	<table border="1" data-bbox="541 1209 930 1306"> <tr> <td>正味量</td> <td>-1.5kg</td> <td>単重</td> <td>0.100kg</td> </tr> <tr> <td>風袋量</td> <td>1.5kg</td> <td>総量</td> <td>0.0kg</td> </tr> <tr> <td>下限値</td> <td>100個</td> <td>上限値</td> <td>105個</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>全登録</td> <td>000</td> </tr> </table>	正味量	-1.5kg	単重	0.100kg	風袋量	1.5kg	総量	0.0kg	下限値	100個	上限値	105個			全登録	000	<p>もう一度合計キーを押すと、単独登録（風袋値、単重値）に戻ります。</p>																
正味量	-1.5kg	単重	0.100kg																																
風袋量	1.5kg	総量	0.0kg																																
下限値	100個	上限値	105個																																
		全登録	000																																
④	<p>【呼出番号入力】</p> <p>7 0 の順に入力してください。</p>	<table border="1" data-bbox="541 1373 930 1470"> <tr> <td>正味量</td> <td>-1.5kg</td> <td>単重</td> <td>0.100kg</td> </tr> <tr> <td>風袋量</td> <td>1.5kg</td> <td>総量</td> <td>0.0kg</td> </tr> <tr> <td>下限値</td> <td>100個</td> <td>上限値</td> <td>105個</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>全登録</td> <td>070</td> </tr> </table>	正味量	-1.5kg	単重	0.100kg	風袋量	1.5kg	総量	0.0kg	下限値	100個	上限値	105個			全登録	070	<p>登録を中止したいときは、消キーを押し、呼出番号が“000”番と表示されたのを確認後、⑤に進んでください。この時、エラーブザーが鳴って登録を中止します。</p>																
正味量	-1.5kg	単重	0.100kg																																
風袋量	1.5kg	総量	0.0kg																																
下限値	100個	上限値	105個																																
		全登録	070																																
⑤	<p>設定完了キーを押してください。</p>	<table border="1" data-bbox="541 1551 930 1647"> <tr> <td>正味量</td> <td>-1.5kg</td> <td>単重</td> <td>0.100kg</td> </tr> <tr> <td>風袋量</td> <td>1.5kg</td> <td>総量</td> <td>0.0kg</td> </tr> <tr> <td>下限値</td> <td>100個</td> <td>上限値</td> <td>105個</td> </tr> <tr> <td>コード</td> <td colspan="3">123456</td> </tr> </table>	正味量	-1.5kg	単重	0.100kg	風袋量	1.5kg	総量	0.0kg	下限値	100個	上限値	105個	コード	123456			<p>①の表示へ戻ります。</p>																
正味量	-1.5kg	単重	0.100kg																																
風袋量	1.5kg	総量	0.0kg																																
下限値	100個	上限値	105個																																
コード	123456																																		

2. 単独登録の仕方・・・設定できる項目1つをデータ登録する方法です。
ただし、単重値は風袋値と同時に登録されます。

《例》 単重値 0.100kg を呼出番号 24 番に登録する場合

操作手順	表示内容	備考																								
① 単重値を設定してください。	<table border="1"> <tr> <td>正味量</td> <td>0.0kg</td> <td>単重</td> <td>0.100kg</td> </tr> <tr> <td>風袋量</td> <td>0.0kg</td> <td>総量</td> <td>0.0kg</td> </tr> </table>	正味量	0.0kg	単重	0.100kg	風袋量	0.0kg	総量	0.0kg	はかりの載台に計量物が載っている場合は、下ろしてください。																
正味量	0.0kg	単重	0.100kg																							
風袋量	0.0kg	総量	0.0kg																							
② 【登録】 呼出キーを押し続けます。 (設定中の表示は点滅)	<table border="1"> <tr> <td>正味量</td> <td>0.0kg</td> <td>単重</td> <td>0.100kg</td> </tr> <tr> <td>風袋量</td> <td>0.0kg</td> <td>総量</td> <td>0.0kg</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>呼出 000</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <table border="1"> <tr> <td>正味量</td> <td>0.0kg</td> <td>単重</td> <td>0.100kg</td> </tr> <tr> <td>風袋量</td> <td>0.0kg</td> <td>総量</td> <td>0.0kg</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>登録 000</td> </tr> </table>	正味量	0.0kg	単重	0.100kg	風袋量	0.0kg	総量	0.0kg				呼出 000	正味量	0.0kg	単重	0.100kg	風袋量	0.0kg	総量	0.0kg				登録 000	零点のとき（計量部に何も載っていないとき）のみキーが有効です。
正味量	0.0kg	単重	0.100kg																							
風袋量	0.0kg	総量	0.0kg																							
			呼出 000																							
正味量	0.0kg	単重	0.100kg																							
風袋量	0.0kg	総量	0.0kg																							
			登録 000																							
③ 【呼出番号入力】 2 4 の順に入力してください。	<table border="1"> <tr> <td>正味量</td> <td>0.0kg</td> <td>単重</td> <td>0.100kg</td> </tr> <tr> <td>風袋量</td> <td>0.0kg</td> <td>総量</td> <td>0.0kg</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>登録 024</td> </tr> </table>	正味量	0.0kg	単重	0.100kg	風袋量	0.0kg	総量	0.0kg				登録 024													
正味量	0.0kg	単重	0.100kg																							
風袋量	0.0kg	総量	0.0kg																							
			登録 024																							
④ 設定完了キーを押してください。	<table border="1"> <tr> <td>正味量</td> <td>0.0kg</td> <td>単重</td> <td>0.100kg</td> </tr> <tr> <td>風袋量</td> <td>0.0kg</td> <td>総量</td> <td>0.0kg</td> </tr> </table>	正味量	0.0kg	単重	0.100kg	風袋量	0.0kg	総量	0.0kg	通常表示へ戻ります。																
正味量	0.0kg	単重	0.100kg																							
風袋量	0.0kg	総量	0.0kg																							

《例》 コード番号 123456 を呼出番号 24 番に登録する場合

操作手順	表示内容	備考												
① コードキーを押して、 1 2 3 4 5 6 の順に、コード番号を入力してください。	<table border="1"> <tr> <td>正味量</td> <td>0.0kg</td> <td>単重</td> <td>0.000kg</td> </tr> <tr> <td>風袋量</td> <td>0.0kg</td> <td>総量</td> <td>0.0kg</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>コード 123456</td> </tr> </table>	正味量	0.0kg	単重	0.000kg	風袋量	0.0kg	総量	0.0kg				コード 123456	設定値点滅。
正味量	0.0kg	単重	0.000kg											
風袋量	0.0kg	総量	0.0kg											
			コード 123456											
② 単重値を登録する際の操作手順②～④を行ってください。														

○上限値・下限値・品名の単独登録について
操作手順は、コード番号と同様

- ①設定値が点滅している時に呼出キーを押し続ける。
- ②呼出番号を入力する。
- ③設定完了キーを押す。

一括登録と単独登録の違いについて

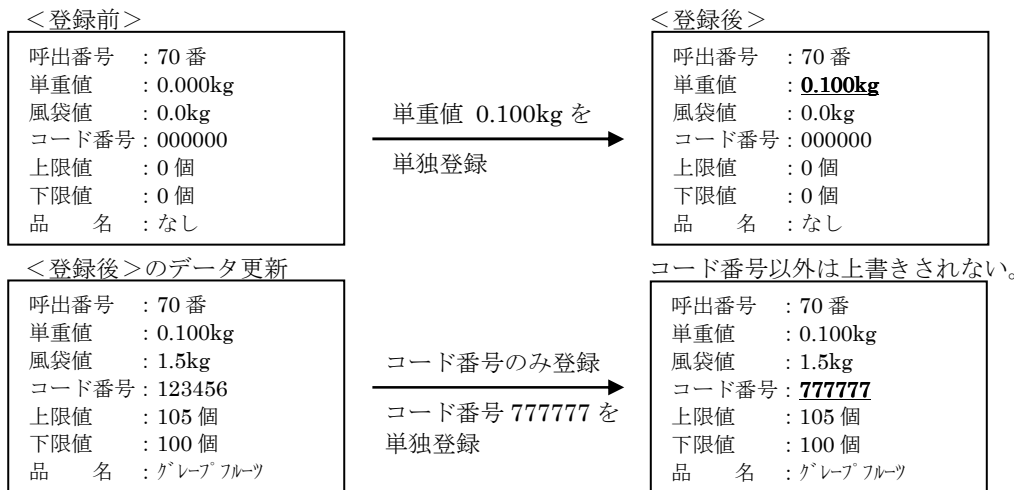
登録データは、呼出番号毎にメモリされています。購入時は、すべてゼロです。

〈例〉 呼出番号70番に登録する場合

- ・一括登録：設定している全てのデータが記憶されます。



- ・単独登録：指定したデータのみ記憶されます。



登録データの呼び出し方

〈例〉 前ページで登録した呼出番号24番の登録データを呼び出す場合

	操作手順	表示内容	備考
①	呼出 キーを押してください。	正味量 0.0kg 単重 0.000kg 風袋量 0.0kg 総量 0.0kg \ \ / / / 呼出 000	零点のとき（計量部に何も載っていないとき）のみキーが有効です。設定値点減。
②	2 4 の順に入力してください。	正味量 0.0kg 単重 0.000kg 風袋量 0.0kg 総量 0.0kg \ \ / / / 呼出 024	登録データの呼び出し表示になります。
③	設定完了 キーを押してください。	正味量 0.0kg 単重 0.100kg 風袋量 0.0kg 総量 0.0kg	

登録データのクリアの仕方

設定値を”0”にしてデータ登録を行うと、データがクリアされます。
データ登録の仕方は、20～21 ページと同様に、単独又は一括にて行ってください。

日付・時刻の設定の仕方

注記：内蔵時計を有していますので、1 度設定されますと自動歩進します。

	操作手順	表示内容	備考
①	<p>【日付設定】</p> <p>シフトキーを押した後</p> <p>4 年月日キーを押してください。</p> <p>例は、2011 年 12 月 22 日を表示しています。</p>	 <p>(年の十の桁が点滅)</p>	<p>西暦で表示します。左から 2 桁ずつ、年・月・日の並びです。</p> <p>年号の設定は、西暦にて入力してください。</p>
②	<p>数字キーで年・月・日の順に入力してください。</p> <p>入力後、設定完了キーを押すと、通常表示へ戻ります。</p>	 <p style="text-align: center;">↓</p> 	<p>年・月・日は、2 桁ずつ入力してください。</p> <p>例 “12”.”01”.”05”</p>
③	<p>【時刻設定】</p> <p>シフトキーを押した後</p> <p>5 時刻キーを押してください。</p> <p>例は、8 時 20 分を表示しています。</p>	 <p>(時間の十の桁が点滅)</p>	<p>24 時間制で表示します。左から時、分の並びです。</p> <p>時間の設定は、24 時間制で入力してください。</p>
④	<p>数字キーで時・分の順に入力してください。</p> <p>入力後、設定完了キーを押すと、通常表示へ戻ります。</p>	 <p style="text-align: center;">↓</p> 	<p>時、分は 2 桁ずつ入力してください。</p> <p>例 “11”-”50”</p>

注意；長期放置（約 1 年 電源コードを挿さない状態）されると自動充電式のバックアップ電池が空になり、日付・時刻データは消去されます。

表示輝度及びコントラスト調整の仕方

- ① **風袋**キーを押しながら**呼出**キーを押してください。
25 ページのユーザパラメータ設定モードを表示します。
- ② **シフト/.**キーを押してください。
下図のようにサブ表示が切り替わります。

設定値		設定値		設定値	
FLD	LCD				
キド:2	コントラスト:125	キド:7			
↑[4]key	↑[5]key	↑[6]key			
↓[1]key	↓[2]key	↓[3]key			

設定値の範囲

FLD	・キド(輝度):0~4
LCD	・キド(輝度):0~7
	・コントラスト:0~255

- | | |
|---|------------------------|
| 4 | キー:メイン表示の輝度を上げたい場合 |
| 1 | キー:メイン表示の輝度を下げたい場合 |
| 5 | キー:サブ表示のコントラストを強くしたい場合 |
| 2 | キー:サブ表示のコントラストを弱くしたい場合 |
| 6 | キー:サブ表示の輝度を上げたい場合 |
| 3 | キー:サブ表示の輝度を下げたい場合 |
- ③ **設定完了**キーを押してください。ユーザパラメータ設定モードに戻ります。
 - ④ もう一度**設定完了**キーを押すと、通常モードに戻ります。

オプション機能について

DP-5602C は、日常の計量の効率アップの為、オプション機能も充実しております。
作業状況に合わせ、これらオプション機能のご活用も宜しくお願い致します。

ジャーナルプリンタを接続すれば

指示計部背面に接続する一体型のプリンタは、場所をとらず操作性も向上し、印字内容も豊富です。また、指示計から離れたセパレート型のプリンタもあります。詳細については専用取扱説明書をご覧ください。

外部リレー入出力を利用すれば

軽量・適量前・適量・過量・大投入・小投入のデータ出力と風袋引・零点リセット信号を外部より入力できますので、作業効率を一段と向上できます。詳細については専用取扱説明書をご覧ください。

RS232C 入出力を利用すれば

各種データの入出力及び操作指令等が行えますので作業のシステム管理に役立ちます。
詳細については専用取扱説明書をご覧ください。

ZBee 無線通信を利用すれば

各種データの出力が行えますので作業のシステム管理に役立ちます。
詳細については専用取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth™ 通信を利用すれば

各種データの出力が行えますので作業のシステム管理に役立ちます。
詳細については専用取扱説明書をご覧ください。

USB メモリを利用すれば

各種データを USB メモリに記憶しますので、データ管理に役立ちます。
詳細については専用取扱説明書をご覧ください。

ユーザパラメータの設定の仕方

DP-5602Cには、37個のユーザパラメータがあり、使用環境に応じて最適な動作をするように設定変更できません。変更する際は、次ページのユーザパラメータ表を参照してください。

《例》パラメータ番号007（非加算）を0から1に変更する場合

	操作手順	表示内容	備考
①	<p>風袋キーを押しながら 呼出キーを押してください。</p>	 <p>(設定値が点滅)</p>	ユーザパラメータの設定モードを表示します。
②	<p>+ キーを押して、変更したいパラメータ番号を表示させてください。 - キーを押すと、逆方向へ数値が変化します。</p>	 <p>(設定値が点滅)</p>	+ キーを押し続けると押し続けている間、自動歩進します。(- キーも同様)
③	<p>数字キーにて設定値を変更します。 1 キーを押してください。</p>	 <p>(設定値が点滅)</p>	入力を間違えた場合、消キーで入力値をクリアして再度入力してください。
④	その他のパラメータを続けて設定する場合は、上記②～③を繰り返してください。	 <p>(設定値が点滅)</p>	
⑤	<p>設定完了キーを押してください。 計数表示へ戻ります。 例は無負荷時を示しています。</p>		

ユーザパラメータ表

番号	名称	標準値	機能説明
001	表示管の輝度	2	0:最も暗い ~ 4:最も明るい
002	ディマータイマー	10	00:ディマータイマー停止 01~60:使用しない時間が設定分続くと表示の輝度を最も暗い状態に自動的に変更する。
003	上下限判別ブザー	0	0:ブザーを鳴らさない。 1:軽量で鳴らす。 2:適量で鳴らす。 3:過量で鳴らす。 4:軽量・過量で鳴らす。
004	上下限判別の安定検出	0	0:安定状態に関わらず上下限判別する。 1:安定時のみ上下限判別する。
005	自動モード時の適量内加算	0	0:判別状態に関わらず、安定検出したとき加算する。 1:適量時に安定検出したときのみ加算する。
006	自動モード時の手動加算	0	0:自動モード時、 <input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/> キーは無効 1:自動モード時でも <input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/> キーは有効
007	非加算 (オプションの一体型プリンタに対応します。)	0	0:累計する。 1:加算時のプリンタ印字・通信出力はするが累計はしない。 (<input type="button" value="合計"/> キーは働きません)
008	印字	1	0:一体型プリンタを使用しない。 1:一体型プリンタを使用する。(個数を印字) 2:一体型プリンタを使用する。(総量、風袋量、個数を印字) 3:一体型プリンタを使用する。(正味量、単重、個数を印字) 4:過不足印字 (番号068, 092=1にすること)
009	印字項目 (オプションプリンタに対応します。)	3	0:コード番号、計量回数を印字しない。 1:コード番号を印字する。 2:計量回数を計量毎に印字する。 3:コード番号と計量回数を印字する。
010	日付印字 (オプションプリンタに対応します。)	2	0:時刻日付を印字しない。 1:時刻を計量毎に印字する。 2:日付を合計毎に印字する。 3:日付を合計毎に印字し、時刻を計量毎に印字する。 4(6):日付を計量毎に印字する。 5(7):日付、時刻を計量毎に印字する。
011	計量毎の自動紙送り量 (オプションプリンタに対応します。)	00	00:紙送りしない。 01~20:毎回計量印字後、設定値分の行を紙送りする。
012	合計毎の自動紙送り量 (オプションプリンタに対応します。)	06	00:紙送りしない。 01~20:毎回計量印字後、設定値分の行を紙送りする。
033	適量前検出個数	000	000:適量前信号を出力しない。 001~200:下限値-設定個数から適量前信号を出力する。
035	SEND(送信)表示時間	1	0:加算時にSEND表示しない。 1~8:加算時に設定秒数SEND表示する。
053	LCDコントラスト	027	0:最も暗い ~ 255:最も明るい

番号	名称	標準値	機能説明
054	LCD設定値表示固定 (18ページの表示例参照)	2	0:常に設定値を表示 1:チェック機能表示(バー表示) 2:チェック、バック機能表示(バー表示+過不足表示) 3:バック機能表示(過不足表示)
055	LCDバー単位	05	0:5個 1~50:設定した個数単位 (機能の詳細は、18ページの※1参照)
056	LED輝度調整 (上下限判別用)	0	0:25% 暗い 1:50% ↓ 2:75% 明るい
058	自動電源オン	0	0:電源プラグ挿入時表示オンしない。 1:電源プラグ挿入時表示オンする。
059	電源オン時 呼出番号自動呼び出し	0	0:何も呼び出さない。 1:呼出番号1番を自動的に呼び出す。
060	電源オン時 自動加算モード	0	0:電源オン時、手動加算モード 1:電源オン時、自動加算モード
061	風袋自動キャンセル	0	0:風袋自動キャンセルしない 1:総量(グロス)4目量以下になると風袋値をクリア 2~3:設定しないでください。
062	分類集計・総合計機能 (※1)	0	0:分類集計を使用しない。 1:分類集計を使用する。(番号059=1にすること) 2:総合計機能を使用する。 3:総合計・最大・最小・平均・範囲印字機能を使用する。
063	総量計算	0	0:内部カウントを質量変換 1:設定しないでください。
066	ワンタイム加算	1	0:安定検出していれば、同じ質量を何度でも手動加算可能 1:零近傍通過後、安定検出すると、1回だけ加算可能 2:設定しないでください。
067	遅延加算	00	00:遅延加算しない。 01~50:設定値×100ms後に安定検出して自動加算する。
068	ゼロ加算	0	0:表示がゼロ表示のときは、加算しない。 1:表示がゼロのときも、加算する。 ※0と使用範囲下限~オーバースケールを印字可能な範囲とする。
069	モーションディテクション (自動加算のタイミング)	0	0:自動加算ゼロディテクション(手動加算はモーション) 1:自動加算モーションディテクション(手動加算もモーション) 2:自動加算ゼロディテクション(手動加算もゼロ) ※ゼロディテクション・・・ゼロ近傍通過後に加算 ※モーションディテクション・・・非安定→安定で加算
070	LCD割付:3段目左側 (8ページ参照)	00	00:表示しない 01:風袋量 02:総量 03:正味量 04:コード番号 05:品名 06:年月日
071	LCD割付:3段目右側 (8ページ参照)	00	07:時間 08:合計回数 09:合計回数+個数 10:下限値 11:上限値 12:単重値

※1・・・JPS-508 又は、TPS-503W 接続時のみ有効

分類集計機能：加算した値をそのときの呼出番号毎に分類して合計する機能

総合計機能：シフトキーを押した後、合計キーを押すと、それまで計量した総累計を印字する機能

番号	名称	標準値	機能説明
072	LCD割付: 4 段目左側 (8ページ参照)	0	0:表示しない 1:風袋量 2:総量 3:正味量 4:コード番号 5:品名 6:年月日
073	LCD割付: 4 段目右側 (8ページ参照)	0	7:時間 8:合計回数 9:合計回数+個数
086	減算モード	0	0:直前の加算データを減算する。 1:載台に載っている個数を減算する。
092	ネガティブカウント (減算式)	0	0:正味量が負の時は手動加算しない。 1:正味量が負の時のみ手動加算する。(自動加算不可) 2:正味量が正負関係なく手動加算する。(自動加算不可)
101	地区補正/重力補正	010 (※1)	000~029:地区補正しない。 030~210: (重力加速度(m/s ²)-9.7600)×10000÷5+オフセット(30) 設定範囲 : 9.7600~9.8500m/s ² 最小設定単位 : 0.0005m/s ²
182	小投入検出個数	000	000:信号を出力しません。
183	大投入検出個数	000	001~9999:設定個数から信号を出力します。

※1 : 使用地区により設定を変更する必要があります。

取引証明以外用

DP-5602C (取引証明以外用) を初めてご使用になる場合、使用地域別に重力加速度を補正する必要があります。補正を行わなかった場合、正しい計量ができない場合がありますので、必ず下記の「重力加速度補正の仕方」をよくお読みいただき、重力加速度の補正を行ってから計量を始めてください。また、取引証明以外用では分銅校正 (スパン調整) を行えます。調整する際は、30 ページを参照してください。

重力加速度補正の仕方

ユーザパラメータ番号 101 番をご使用地域に応じた設定値に変更してください。
ユーザパラメータの変更方法については 25 ページを参照してください。
使用地域別の重力加速度については 29 ページを参照してください。

注記 : 一度重力加速度補正を行ったばかりを設定値が異なる地域で使用する場合、再度使用地域に対応した重力加速度の補正が必要になります。

<使用地域別の重力加速度と設定値>

地域名	都道府県	重力加速度の範囲 (m/s ²)	設定値
道北・道東地方 (十勝地方を除く)	道北地方(宗谷・上川・留萌) 道東地方(網走・根室・釧路)	9.804~9.807	121
道央・道南・十勝地方	道央(石狩・後志・空知) 道南(檜山・胆振・日高・渡島) 十勝地方	9.803~9.806	119
東北地方	青森県、岩手県	9.801~9.804	115
	宮城県、秋田県	9.800~9.803	113
	山形県、宮城県	9.799~9.802	111
	福島県	9.798~9.801	109
関東甲信越地方	新潟県、茨城県	9.798~9.801	109
	栃木県	9.797~9.800	107
	千葉県、神奈川県、山梨県、群馬県、埼玉県、 東京都(八丈支庁・小笠原支庁を除く)	9.796~9.799	105
	長野県 東京都(八丈支庁・小笠原支庁に限る)	9.795~9.798 9.794~9.796	103 100
北陸地方	福井県、富山県、石川県	9.797~9.800	107
東海・近畿・中国地方	静岡県、岐阜県、愛知県、三重県(東海4県) 大阪府、和歌山県、奈良県、滋賀県、京都府、 兵庫県(近畿2府4県) 山口県、岡山県、鳥取県、広島県、島根県 (中国5県)	9.796~9.799	105
四国地方	香川県、愛媛県、徳島県、高知県	9.795~9.797	102
九州地方	長崎県、福岡県、佐賀県、熊本県、宮崎県、 大分県、鹿児島県(薩摩・大隅地方に限る)	9.794~9.797	101
	鹿児島県(薩摩・大隅地方を除く)	9.791~9.794	95
沖縄地方	沖縄県	9.789~9.792	91

上記の内容についてご不明な点がございましたら、弊社にお問い合わせください。

参考：国土地理院のホームページ (<http://www.gsi.go.jp>) に、地域別の重力加速度について説明がありますのでご参照ください。

分銅校正の仕方

お客様自身による校正(使用前の校正)が可能です。分銅校正を行わなかった場合、正しい計量ができない場合がありますので、定期的に分銅校正を行うことをお勧めします。

また、分銅校正を行う場合、2級基準分銅以上の精度の分銅をご用意のうえ、下記手順に従って分銅校正を行ってください。尚、分銅は、ひょう量及び1/2ひょう量分の分銅をご用意ください。

《例》ひょう量300kg/目量0.1kgのはかりを分銅校正する場合

	操作手順	表示内容	備考
①	<p>風袋キーを押しながら 呼出キーを押してください。</p>	 <p>(設定値が点滅)</p>	<p>ユーザパラメータの設定モードを表示します。</p>
②	<p>サンプル/単重キーを押してください。</p>		<p>スパン調整モードに入る。</p>
③	<p>風袋キーを押してください。</p>		<p>零点を記憶します。</p>
④	<p>はかりの載台に150kgの分銅を載せ、風袋キーを押してください。</p>		<p>150kg (=1/2ひょう量)の点を記憶します。</p>
⑤	<p>はかりの載台に300kgの分銅を載せ、風袋キーを押してください。</p>		<p>300kg (=ひょう量)の点を記憶します。</p>
⑥	<p>設定完了キーを押してください。</p> <p>例は単重値が未設定の場合を示しています。</p>		

注意：正しい校正が行われないと正しい計量ができませんのでご注意ください。

エラー表示について

表示内容	このような時表示されます	処置の仕方
	はかりの載台に品物を載せたまま ON 零点リセット キーを押して、表示オンした時、表示することがあります。	載台上的の品物を取り除き、 ON 零点リセット キーを押してください。
	はかりの載台に品物を載せたまま ON 零点リセット キーを押して、零点リセットした時、表示することがあります。	総量及び正味量の表示が零になり使用可能となります。
	はかりの載台とケースとの間に異物をはさまった状態や載台を取り除いた状態で、 ON 零点リセット キーを押して、表示オンした時、表示することがあります。	載台を正しく取り付けて ON 零点リセット キーを押してください。
	はかりの載台を取り除いた状態で ON 零点リセット キーを押して、零点リセットした時、表示することがあります。	総量及び正味量の表示が零になり使用可能となります。
	使用中、はかりのひょう量を超える品物を載せた時や個数が 999,999 を超えた場合表示します。	品物を取り除きますと計数表示へ戻ります。 はかりの使用範囲内でご使用ください。
	使用中、はかりの載台を取り除いた時、表示します。	載台を正しく取り付けてください。 表示が零になり使用可能となります。
	単重を設定した際、単重が小さすぎる場合、表示します。	消 キーを押してエラーを解除し、単重を設定し直してください。
	加算回数が最大数 9,999 回に到達している状態で、加算を行った時、表示します。	消 キーを押した後、16 ページを参照して加算回数をクリアしてください。
	加算した際、加算値が最大数 99,999,999 をオーバーした時、表示します。	消 キーを押してエラーを解除し、16 ページを参照して加算値をクリアしてください。

表示内容	このような時表示されます	処置の仕方
	AD 変換が正常に行われないとき、表示します。また、オプションジャーナルプリンタ接続時、プリンタが紙詰まり等で正常に動作しなくなった時、表示します。	プリンタ部をチェックし、紙詰まり等がないか確認してください。 OFF キー、 ON/零点リセット キーを押し、電源を入れ直してください。
	<オプション RS232C 使用時> 接続機器の受信準備ができていない時、表示します。	コネクタの接続を確認してください。 消 キーを押しエラーを解除し、通信を再開してください。
	<オプション RS232C 使用時> 認識できない指令を受信した時、表示します。	接続機器の送信内容を確認してください。 消 キーを押しエラーを解除し、通信を再開してください。
	<オプション RS232C 使用時> 認識できないヘッダを受信した時、表示します。	接続機器の送信内容を確認してください。 消 キーを押しエラーを解除し、通信を再開してください。
	<オプション RS232C 使用時> 風袋量等を受信した際、使用範囲を超えている時、表示します。	接続機器の送信内容を確認してください。 消 キーを押しエラーを解除し、通信を再開してください。
	<オプション RS232C 使用時> 受信したヘッダとその数値の単位が間違っている時、表示します。	接続機器の送信内容を確認してください。 消 キーを押しエラーを解除し、通信を再開してください。
	<オプション RS232C 使用時> BCC の値が一致しないとき、表示します。	接続機器の BCC の計算結果を確認してください。 消 キーを押しエラーを解除し、通信を再開してください。
	<オプション RS232C 使用時> 接続機器の送信データが多すぎる時、表示します。	接続機器の送信内容を 2 回に分けて送信するか、送信内容を減らしてください。 消 キーを押しエラーを解除し、通信を再開してください。
	加算指令を受信したが、はかりが安定状態でない時、表示します。	消 キーを押しエラーを解除し、はかりを安定させてから再度加算指令を送信してください。
	<オプション RS232C 使用時> 零点調整指令を受信した際、零点調整できない範囲の時、表示します。	零点調整可能な範囲(ひょう量の $\pm 1.9\%$ 以内)で指令を送信してください。 消 キーを押しエラーを解除し、通信を再開してください。

表示内容	このような時表示されます	処置の仕方
	<オプション RS232C 使用時> 風袋引指令を受信した際、はかりが風袋引出来ない状態の時、表示します。	はかりの仕様・状態を確認の上、風袋引が可能な状態にした後、指令を送信してください。 消 キーを押してエラーを解除し、通信を再開してください。
	<オプション RS232C 使用時> 加算指令を受信した際、はかりに計量物が載っていない時など、実行できない指令を受信した時、表示します。	はかりの仕様・状態を確認の上、指令受信が可能な状態にした後、指令を送信してください。 消 キーを押してエラーを解除し、通信を再開してください。
	<オプション RS232C 使用時> 未定義の ZS99 コマンドを受信した時、表示します。	接続機器の送信内容を確認してください。 消 キーを押してエラーを解除し、通信を再開してください。
	<オプション RS232C 使用時> 送信データ長が長すぎた時、表示します。	接続機器の送信内容を確認してください。 消 キーを押してエラーを解除し、通信を再開してください。
	<オプション プリンタ使用時> 分類集計時に、呼出番号が”0”になっている時、表示します。	消 キーを押して、呼出番号を設定してから、計量を再開してください。
	<オプション USBメモリ使用時> 書き込むためのUSBメモリが未接続の時、表示します。	USBメモリが挿し込まれていることを確認してください。 消 キーを押してエラーを解除し、通信を再開してください。
	<オプション USBメモリ使用時> 書き込むためのUSBメモリの容量がいっぱいの時、表示します。	USBメモリの空き容量を確認してください。 消 キーを押してエラーを解除し、通信を再開してください。
	<オプション USBメモリ使用時> 書き込むためのUSBメモリの設定がリードのみの時、表示します。	USBメモリの設定がリード/ライトになっているか確認してください。 消 キーを押してエラーを解除し、通信を再開してください。
	<オプション USBメモリ使用時> USBメモリの書き込み時間が長すぎた時、表示します。	USBメモリに書き込むデータの内容を確認してください。 消 キーを押してエラーを解除し、通信を再開してください。

お願い はかりを正しく使用されますとエラー表示することはありません。
上記エラー表示をした場合には、“処置の仕方”に従い処置をお願いいたします。
上記処置を行っても異常な現象が出る場合は、はかり内部の異常ですのでご購入店へ連絡願います。
また、“E-101”より大きい数字のエラー表示が出た場合も、ご購入店へ連絡願います。

仕 様

1. 型 式 : DP-5602C
2. 計量方式 : 電気抵抗線式
3. ひょう量系列 : 60kg、150kg、300kg、1t、2t
載台寸法 : 外観寸法図参照
4. 表示部 メイン表示 : 蛍光表示管 (7セグメント・6桁)
 文字寸法 : 32 (H) × 14.6 (W) mm
 サブ表示 : フルドットLCDモジュール
 ドットサイズ : 0.50 (H) × 0.50 (W) mm
5. 表示内容
- | | | |
|-------|---------|------|
| メイン表示 | : 個数 | 最大6桁 |
| サブ表示 | : 質量 | 5桁 |
| | : 単重値 | 5桁 |
| | : 下限値 | 6桁 |
| | : 上限値 | 6桁 |
| | : コード番号 | 6桁 |
| | : 日付 | 6桁 |
| | : 時刻 | 6桁 |
| | : 風袋値 | 5桁 |
| | : 合計個数 | 8桁 |
| | : 合計回数 | 4桁 |
| | : 呼出番号 | 3桁 |
6. サイン表示
- | | | |
|-------|-----------------------|-------|
| 点灯時零点 | : 0 ± 1 / 4目量度目以内の時点灯 | (▼) |
| 安 定 | : 計量安定時点灯 | (▼) |
| 自 動 | : 自動モード時点灯 | (▼) |
| シ フ ト | : シフトキー選択時点灯 | (▼) |
- ランプ表示
- | | | |
|----------|----------|-----------|
| 正 味 量 | : 風袋引中点灯 | LED赤ランプ |
| 上下限判定ランプ | : 軽量時点灯 | 3色LED赤ランプ |
| | : 適量時点灯 | 3色LED青ランプ |
| | : 過量時点灯 | 3色LED黄ランプ |
7. 操作部
- | | |
|-----------|---|
| ON/零点リセット | : 表示オン、零点リセット用 |
| OFF | : 表示オフ用 |
| 呼出 | : 登録データの呼出、登録用 |
| 風袋 | : 風袋引用 |
| + | : 計量値の手動加算、および印字用 |
| - | : 計量値の減算、および印字用 |
| 合計 | : 合計表示切替用、または合計印字用
ジャーナルプリンタやシリアル出力付きのとき
合計表示へ切り替わりません。 |
| コード | : コード番号設定用 |
| 上限 | : 上限値設定用 |
| 下限 | : 下限値設定用 |
| サンプル/単重 | : サンプル個数設定用 |
| 設定完了 | : 各設定値の設定完了用 |
| 0~9 | : 各種設定値入力用 |
| 消 | : 各種設定値のクリア、風袋引クリア用 |
| シフト/. | : 2~6キーの拡張機能選択用/小数点入力 |
| 年月日 | : 日付設定用 (シフトキー併用) |
| 時刻 | : 時刻設定用 (シフトキー併用) |
| 品名 | : 品名設定用 (シフトキー併用) |

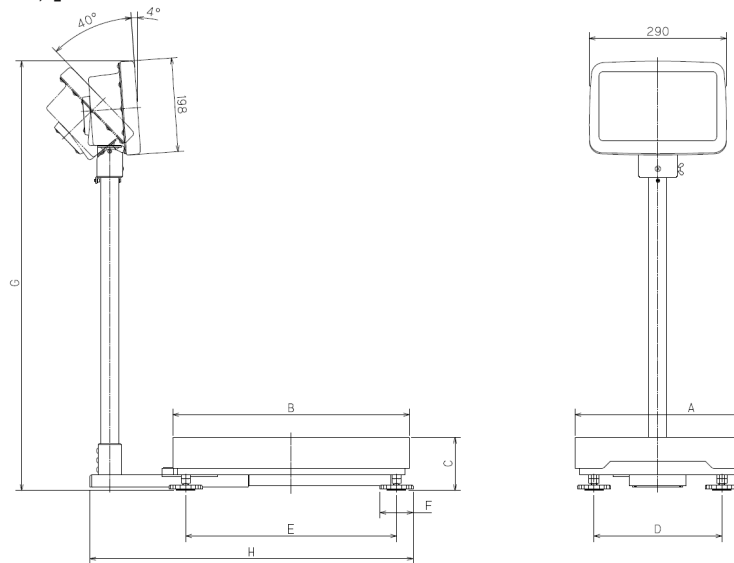
- 紙送り : プリンタの紙送り用 (シフトキー併用)
 自動 : 自動モード、手動モード切替用 (シフトキー併用)
8. 風袋引き : 下記の3種類の風袋引ができます。
 ワンタッチ風袋引、数字キーによる置数式、
 呼出キーによるプリセット式
- 有効範囲 : ひょう量以内
9. 登録データ呼出 (最大100件) : 表示値が零点以下のとき、各登録データを呼び出す。
 登録方法 : 単独登録、一括登録の2種類の方法が可能です。
 登録できるデータ : 風袋値、コード番号、上限値、下限値、単重値、品名、
10. 工場オプション
- a) 一体型プリンタ : 専用ジャーナルプリンタ (JPS-508) 指示計背面への取付、上部排紙
 印字内容 : 個数 (6桁)
 (毎回) : コード番号 (6桁)
 回数 (4桁)
 日付 (6桁)
 時刻 (4桁)
 (合計印字) : 合計個数 (8桁)、合計回数 (4桁)
- b) セパレート型プリンタ : 専用ジャーナルプリンタ TPS-503W、MP-190 (複写可)
 印字内容 : 一体型プリンタと同じ
- c) RS232C : 入出力機能によりシステム対応
 接続機器 : ラベルプリンタ SP-509XII、SP510X
 USBメモリ、大型表示器、パソコン等
 出力データ : 単重、コード番号、総量、正味量、風袋量、合計個数、合計回数、
 個数、上限値、下限値、日付
 入力データ : 加算指令、合計指令、風袋引指令、零点リセット指令、コード番号
 単重、風袋値、上限値、下限値、日付
- d) 接点用入出力 出力 : 軽量、適量前、適量、過量、大投入、小投入の6種
 入力 : 風袋引、零点リセット、加算、合計
- e) ZBee無線通信 : 出力機能によりシステム対応
- f) Bluetooth™通信 : 出力機能によりシステム対応
 出力データ : RS232Cと同じ
- g) 分類集計機能 : 登録データの設定により、100種類の分類集計ができます。
 オプションプリンタへ集計結果を出力します。
11. 電源 : AC100V +10%~-15% 50/60Hz
 約23W
12. 表示部ケース : SUS製
 防塵、防水構造 (IP66準拠品) プリンタ部は除きます。
12. 使用条件 温度範囲 : -10℃~+40℃
 湿度範囲 : 30%~85%RH (結露なきこと)
13. ケーブル 電源ケーブル : 約4m
 ロードセルケーブル : 約3m (小型、中型)、約5m (大型、特大型)
14. 付属品 : 本紙・壁掛け用金具

外観寸法図

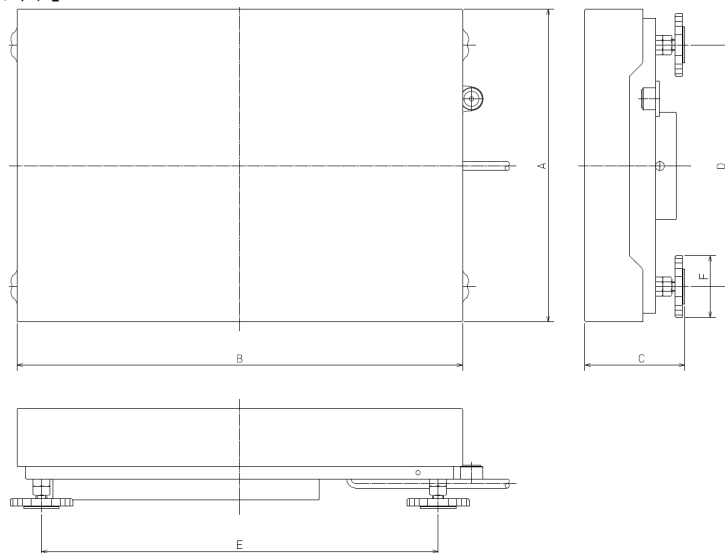
	小型	中型	大型	特大型
A	350	500	850	1200
B	500	750	1000	1200
C	112 $\begin{smallmatrix} +20 \\ 0 \end{smallmatrix}$	148 $\begin{smallmatrix} +20 \\ 0 \end{smallmatrix}$	236 $\begin{smallmatrix} +50 \\ 0 \end{smallmatrix}$	246 $\begin{smallmatrix} +50 \\ 0 \end{smallmatrix}$
D	270	400	720	1070
E	445	660	855	1070
F	$\phi 70$	$\phi 70$	$\phi 75$	$\phi 75$
G(一体型のみ)	903 $\begin{smallmatrix} +20 \\ 0 \end{smallmatrix}$	910 $\begin{smallmatrix} +20 \\ 0 \end{smallmatrix}$	935 $\begin{smallmatrix} +50 \\ 0 \end{smallmatrix}$	—
H(一体型のみ)	683	896	1145	—

各部寸法(単位: mm)

[一体型(オプション)]



[セパレート型(標準)]



信頼・技術・創造

大和製衡株式会社

本社営業	〒673-8688	兵庫県明石市茶園場町5番22号	TEL.078-918-6540
東日本支店	〒105-0013	東京都港区浜松町1丁目22番5号	TEL.03-5776-3123
中日本支店	〒460-0008	名古屋市中区栄5丁目27番14号	TEL.052-238-5731
千葉営業所	〒264-0025	千葉市若葉区都賀4丁目8番18号	TEL.043-214-3920
九州営業所	〒812-0018	福岡市博多区住吉4丁目3番2号	TEL.092-471-1921
		浜松町センタービル4階	
		朝日生命名古屋栄ビル5階	
		ショー・エム都賀1階	
		博多エイトビル1階	